

「第90回 法人企業統計研究会」の議事要旨

令和3年6月28日(月)  
10:30～12:00  
オンライン開催

季節調整値について

◎資料1及び資料2に基づき、2021年4-6月期以降に用いるX-12ARIMAスペックについて説明。

◎委員からの主な意見

(ダミー変数について)

- ・結果を見ると Ramp 法だと非常にうまくいっているようだが、これだけコロナで、経済の変動が異常な動きを示す時には、基本的に A0 変数を使うのが良いように思われる。A0 変数については 4 時点全部入れた推定結果を示されているが、例えば緊急事態宣言の発令のあった 4-6 月期、7-9 月期、それから今年の 1-3 月期、この 3 時点について、A0 変数を入れると、推定結果は良くなるのではないかと思う。
- ・ダミー変数の置き方を Ramp 法で見ると、2020 年 4-6 月期から 10-12 月期にかけてはリニアな変化となっている中で、売上は図を見る限り、Ramp 変数を用いたモデルで大丈夫な感じはするが、経常利益は違うように思われる。今回の提案は、すべてダミー変数を統一して Ramp 法となっているが、コロナの時期は何が起こったのかよく分からない中で、ダミー変数を 3 つ、4 つ入れるということは考え方として如何かと思う。

⇒ 委員からの提案を受け、A0 変数を入れる時点について追加で検証を行うこととする。なお、売上高、経常利益、営業利益の製造業、非製造業別の 6 系列については、2021 年 4-6 月期以降用いるダミー変数について、メンバーから意見を徴収し Ramp 変数若しくは A0 変数を用いたモデルのどちらかを採用することとしたい。

(設備投資系列に対する季節調整法について)

- ・「設備投資・ソフトウェア（非製造業）」のスペックが変更されたが、ボーダーラインの変化はしているが微妙なので、ARIMA モデルへの変更で対処しようという提案と理解。

⇒ 「設備投資・ソフトウェア（非製造業）」については、今回最適とされたモデルを使用する。

令和3年7月7日(水)～7月16日(金)  
書 面 開 催

◎資料3の表2-2によりA0変数についてAICが最小となる組み合わせを新たに示すとともに、売上高（製造業）～営業利益（非製造業）の6系列について、A0変数、Ramp変数の設定について検証結果を報告。

◎委員からの主な意見

- ・結果を見る限りでは Ramp 変数の設定でよさそうである。今後、コロナワクチンの普及率が十分高くなり状況が落ち着いた時点で、改めて今後の方針を検討する必要は生じるものと考え。
- ・報告書では A0 変数、Ramp 変数の妥当性について詳細に検討している。その検討結果及び導かれている結論はともに妥当と考える。データも出揃ってきたので適切な処理を早急に行うことが肝要と考えられ、Ramp 変数の適用が妥当と考える。

- ・追加検証の結果によると A0 変数を利用しても当面は同じような結果が得られると判断できる。ただし、A0 変数の適用を現段階で行うと、かなりの将来に渡り、継続的に A0 変数の妥当性について検証していくことが必要であり（例えば A0 変数を増やし続けると、季節調整値の不安定性につながり得る）、実務的にもかなり煩雑となる可能性が大きいと予想する。
- ・経済の変動が異常な動きを示す時には、推定結果が Ramp 変数と A0 変数で大きな相違がないのであれば、回復過程でリニアな変化を仮定する Ramp 変数よりも A0 変数の利用が単純で分かりやすいので良いように考える。
- ・変化点を発見したいということであれば、多めの A0 変数の導入が良いが、当てはめを考えているので Ramp 変数の導入が最適と考える。
- ・結果に大きな違いがないことや今後の状況の変化に対応可能であることを考慮すれば、Ramp 変数の方が望ましいと考える。
- ・Ramp 変数の設定に賛成である。今後もどのような影響が出るとも分からない中、Ramp 変数であれば仮にギャップが生じたとしても自動的に一定の調整がされることは大きな意義があると考え

⇒ 多くの委員から報告書の提案どおり Ramp 変数の適用が支持されたことから、売上高（製造業）～営業利益（非製造業）の 6 系列については Ramp 変数を適用することとしたい。なお、2021 年 4-6 月期以降に適用する季節調整モデルは報告書表 4-1～表 4-10 のとおりとする。

(以上)